

令和3年度 事業報告書

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

学校法人平野学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 平野学園（昭和56年12月28日法人設立）

代表者 理事長 戸田 清三

住 所 大阪市平野区平野上町1丁目2番2号

電 話 06-6791-3939

FAX 06-6794-2543

設置する学校

住 所 大阪市平野区平野上町1丁目2番2号

名 称 認定こども園 西平野幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 14名

理事会 2回（書面決議により）

評議員会 2回（書面決議により）

職 員 13名（正規11名、非正規2名）

2. 事業概要

（ 西平野幼稚園 ）

《教育方針》

- ・明るくのびのび元気よく
- ・豊かな心を大切に
- ・みんな仲良く手をつなごう
- ・自分で考え自分でできる

《教育内容》

小規模の利点を生かし、目の行き届いた心の通う保育をモットーに、先生と幼児との信頼関係を大切にして、バランスのとれた総合的な心身の発達を願って努力しています

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	35	1	35	1	35	3	105
2年度1号	1	21	1	25	1	16	3	62
2号		2		2		5		9
3年度1号	1	29	1	18	1	21	3	68
2号		2		5		6		13

《開園日・開園時間》

開園日 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日

開園時間 月～土 7:30～18:30

《保育時間》

1号こども 月～金曜日 8:30～14:30、土曜日 休園

2号こども(短時間) 月～土曜日 8:30～16:30

2号こども(標準時間) 月～土曜日 7:30～18:30

《保育料》

3才から5才まで保育料は無料

《上乗せ徴収》

入園手数料 年額 10,000円(入園時)

施設整備費 年額 40,000円(入園時)

《実費徴収》

制服代 約 34,000円(入園時)

保育用品代 年額 約6,800円(入園時)、約1,180円(進級時)

給食代 月額 約6,600円(1号)、約8,250円(2号)

絵本代 月額 約410円～440円

遠足代 年額 約9,000円～12,000円

教材代 3才 年額 約3,000円～4,000円

4・5才 年額 約4,500円～5,000円

カラー帽子代 約1,000円

ハーモニカ代 約1,500円(年長時)

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 7:30～8:30 100円

14:30～16:30 300円

14:30～18:30 600円

土曜日・長期休業日 7:30～8:30 100円

8:30～11:30 600円

8:30～14:30 900円

8:30～18:30 1,500円

《行事実施状況》

入園式、親子遠足(中止)、プール遊び(中止)、遠足(秋1回のみ)、運動会、お楽しみ会(中止)・クリスマス会(中止)、観劇遠足(中止)、こどもオペレッタ会(中止)、卒園式

《施設関係》

園地面積 656㎡ 運動場面積 484㎡

《設備・修繕・備品関係》

通用門扉の溶接修理

園庭目隠し設置工事

保育室電子ピアノ修理

防災カーテン取替え

《事業報告》

令和3年度の事業は前年度より園児数が10名増えたうえに、さらに2号こどもも4名増えたため、施設型給付費の収入が増加した

職員については4人の新任の先生を迎えて、特別支援と預かり保育を担当してもらうとともに、幼児とのかかわり方を学んでもらった。

また、職員の待遇改善として、前年度より1万円のベースアップを図ったため人件費は増加したが、就労意欲の向上に努めた。

オミクロン株による新型コロナの感染は、これまで以上に感染力が強く、第5波・第6波とさらに波が大きくなり、2年目にあたる令和3年度も感染の拡大防止のために、行事の縮小や中止をせざるをえなかった。

緊急事態やまん延防止の宣言が出されている時には家庭保育の協力依頼が大阪市からも同時に出されて、本園では協力される方が多く、各クラスの出席が3分の1ほどになる状態が長く続いた。

1年を振り返ると、園に十分、通えなかったり、行事などが少なくなったため、やはり残念な1年となった。

財務面では事業活動収支計算書より、教育活動収入計が103,475千円（前年度89,485千円）であったのに対し、教育活動支出計が89,852千円（前年度93,107千円）となり、教育活動外収支差額を足して経常収支差額13,624千円（前年度△3,610千円）のプラスと良好な経営状況に改善した。

今後も新型コロナの感染対策をしつつ、徐々に以前の園生活を取り戻すように努力をし、園児たちが喜ぶ保育を考えて自主性を伸ばし、お友だちと力を合わせて協力する協調性と思いやりの心を育てていきたい。

3. 財務状況

別紙参照。